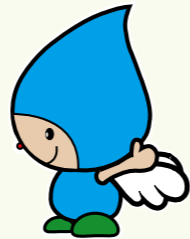


流域連携基金イメージソング

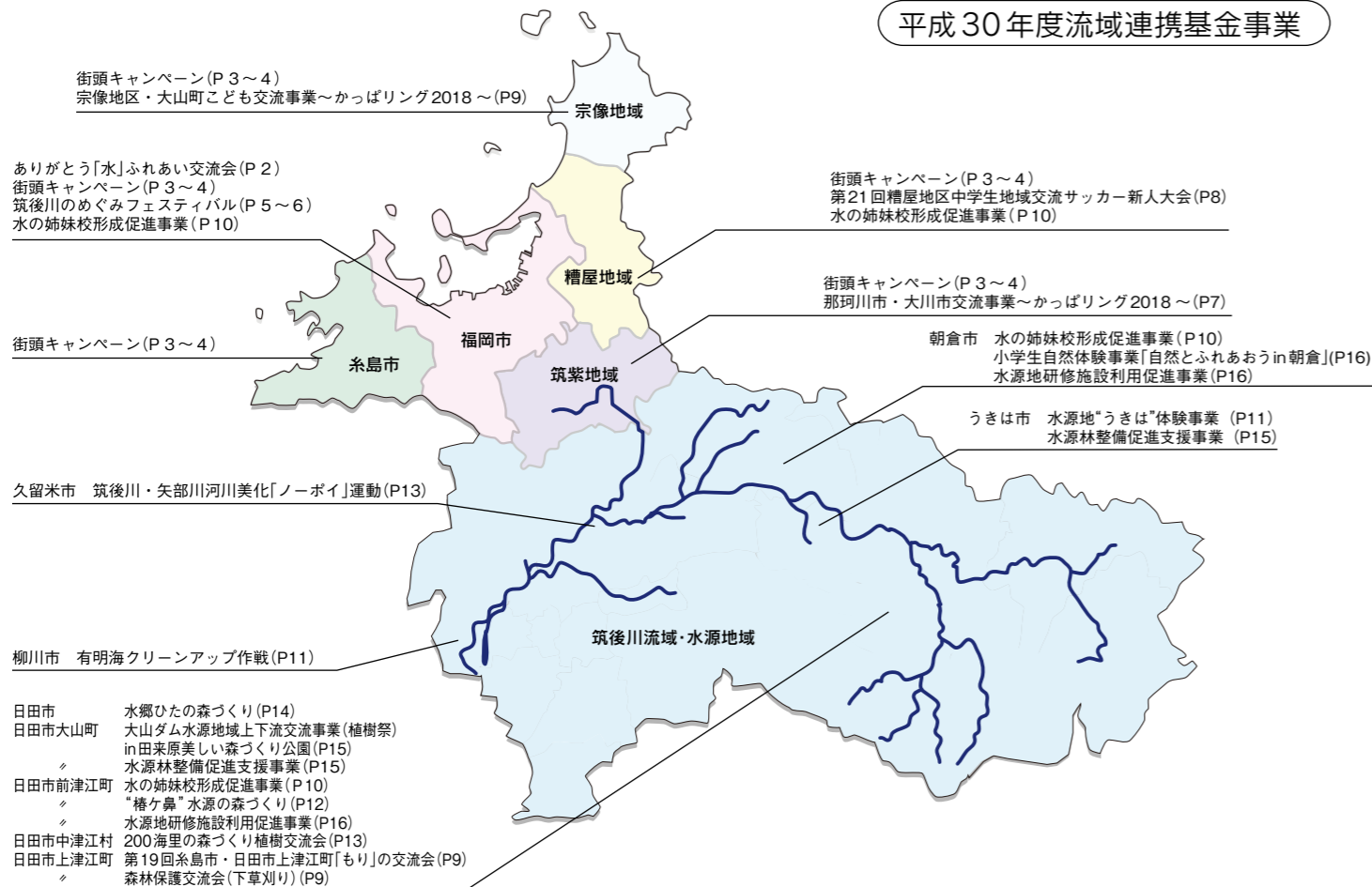
筑後川にて 作詞、作曲、歌/加藤淳也 (シンガーソングライター、ラジオパーソナリティ/那珂川市出身)

- | | |
|---|--|
| <p>1 水面に映る空の青に あなたをかさねてみた
元気でいますか? 変わりはないですか?
今日もどこかで笑ってますか?</p> <p>河川敷から投げた石が 水のうえ走ってく
うまくいなくて ぶてくされたりして
人は今日だって育まれる</p> <p>とめどなく とめどなく
流れ続ける中で 守られる景色も そそがれる愛も
全部全部 感謝しよう</p> <p>筑後川がせせらいでる まだ見ぬあなた想ってる
森のめぐみ 海のめぐみ それをつないでる川のめぐみ
人の出会いとよく似てる まだ見ぬ友よ元気でいますか?
そんなふう生きてるから 川の流ればあなたそのもの</p> | <p>2 土手にしゃがんだ筑後の花火 みんなで見上げながら
夜空ハジケタ 誰かさんの記憶
水辺で見つけた少年の笑顔</p> <p>街の灯りが優しくうつる 流れをながめながら
虫の鳴き声 季節を越えていく
清らかさゆえに育まれる</p> <p>いつだって いつだって
ゆるやかに優しく 守られる景色も そそがれる愛も
全部全部 感謝しよう</p> <p>筑後川がせせらいでる まだ見ぬあなた想ってる
森のめぐみ 海のめぐみ それをつないでる川のめぐみ
人の出会いとよく似てる まだ見ぬ友よ元気でいますか?
そんなふう生きてるから 川の流ればあなたそのもの</p> <p>筑後川がせせらいでる まだ見ぬあなた想ってる
森のめぐみ 海のめぐみ それをつないでる川のめぐみ
人の出会いとよく似てる まだ見ぬ友よ元気でいますか?
そんなふう生きてるから 川の流ればあなたそのもの
僕そのもの</p> |
|---|--|



- 福岡都市圏になくてはならない筑後川に感謝を込め、また、流域連携基金事業を広くPRするためのイメージソングです。
- 福岡都市圏ホームページ (<https://www.fukuoka-tosiken.jp/>) でダウンロードできます。ぜひお聴きください。

平成30年度流域連携基金事業



事業組合
構成

福岡地域/福岡市
筑紫地域/筑紫野市・春日市・大野城市・太宰府市・那珂川市
糟屋地域/古賀市・宇美町・篠栗町・志免町・須恵町・新宮町・久山町・粕屋町
宗像地域/宗像市・福津市
糸島地域/糸島市

編集・発行

福岡都市圏広域行政事業組合
〒810-8620 福岡市中央区天神 1-8-1
TEL 092-733-5004 FAX092-733-5005
[メール] fvgv9840@mb.infoweb.ne.jp
[ホームページ] <https://www.fukuoka-tosiken.jp/>

発行/平成31年3月
印刷/株式会社 西日本高速印刷

平成30年度 福岡都市圏広域行政事業組合

流域連携基金事業 実施レポート



交流推進

地域振興
支援

森林保全
支援

環境対策
支援

鯛生金山(大分県日田市)



流域連携基金キャラクター
「ちっこりん」

福岡都市圏の水道水の約1/3は、
筑後川の水です。

ご挨拶

福岡市・筑紫地域・糟屋地域・宗像地域・糸島市を圏域とする福岡都市圏の17市町で設立した福岡都市圏広域行政事業組合は、圏域に共通する行政課題に対応するため、様々な事業を共同で実施しています。

福岡都市圏には、現在250万を超える人が暮らしていますが、大きな川がないなど地理的に水資源に恵まれず、私達の生活に欠かせない水道水の約3分の1を筑後川から取水しています。圏域の安定的な水道水の供給は、ひとえに、筑後川流域及び水源地域の住民の皆様のご理解とご協力によって保たれています。

当事業組合では、森林の保全や河川の清掃活動、水の学習等を通じて、福岡都市圏と筑後川流域及び水源地域の住民の皆さんと交流・連携し、相互理解を深めることを目的に、「流域連携基金事業」を行っています。

近年、大きな豪雨災害が続いています。本年度の流域連携基金事業では、子ども達が豪雨災害による被害、復旧状況を学べる機会を設けるなど、災害から得た教訓を未来につなげる活動に取り組みました。ご協力いただいた地域の皆様、ありがとうございました。

福岡都市圏の住民の皆様には、これからも筑後川への「感謝」の気持ちを忘れずに、水を大切に使用していただくとともに、次世代を担う子どもや若い世代が今以上に水環境に関心を持って、森や川を守り育てる活動にチャレンジしてほしいと思います。

今後とも、筑後川流域及び水源地域との交流・連携を積極的に進めてまいりますので、皆様方のご理解となお一層のご協力を賜りますようお願いいたします。

平成31年3月

福岡都市圏広域行政事業組合
管理者 高島 宗一郎



目次

交流推進事業

福岡都市圏「水」キャンペーン2018	2P
ありがとう「水」ふれあい交流会	2P
街頭キャンペーン	3～4P
筑後川のめぐみフェスティバル	5～6P
かっぱリング事業	7～9P
水の姉妹校形成促進事業	10P
水源地「うきは」体験事業	11P
有明海クリーンアップ作戦	11P
“椿ヶ鼻”水源の森づくり	12P
200海里の森づくり植樹交流会	13P
筑後川河川美化「ノーポイ」運動	13P
水郷ひたの森づくり	14P
大山ダム水源地域上下流交流事業（植樹祭）	15P

森林保全支援事業

水源地整備促進支援事業	15P
-------------	-----

地域振興支援事業

小学生自然体験事業	16P
水源地研修施設利用促進事業	16P

環境対策支援事業

環境対策支援補助金交付団体	17P
災害見舞金	18P
流域連携基金審議会	18P
流域連携基金条例・施行規則	18P
流域連携基金「イメージソング」	裏表紙
平成30年度流域連携基金事業実施場所	裏表紙

福岡都市圏「水」キャンペーン2018 ありがとう「水」ふれあい交流会

- 実施日／平成30年8月7日（火）
- 場所／福岡タワー、海水淡水化センター（まみずピア）、マリンワールド海の中道

福岡都市圏（40名）と日田市立大明小学校（35名）の小学校5・6年生が、福岡タワーや海水淡水化センター（まみずピア）、マリンワールド海の中道での交流会やクイズ大会、施設見学を通して、水の大切さを学びながら交流を深めました。

参加者の声

日田市

身近にある筑後川の水が福岡の都市圏が使う水の約1/3になっていることに驚きました。筑後川の水が役に立っていると聞いてうれしくなりました。川を汚さないようにこれからも気をつけたいです。

時間をかけて私たちが使っている水ができていくと分かったし、水がないと生活ができないので、水の必要性を感じました。その水を大切にしないといけないと改めて思いました。

参加者の声

都市圏

水は、当たり前のようにあるけど、それを作るまでにたくさんの人たちや施設が関係していることがわかって、大切にしないといけないと思った。これからは筑後川に感謝しながら、大切に水を使いたいです。

色んな人の努力のお陰で、いつも水を飲む事がわかったので、水に対する考え方も変わりました。今までは、たくさん水を出してしまっていたから気を付けようと思います。

福岡タワー

自己紹介も兼ねた手作り名刺の交換をした後、福岡都市圏と筑後川流域にある日田市が、水を通してつながっていること等をクイズ大会を通して学びました。また、展望室に上がり、福岡都市圏の景色を一望しました。



まみずピア

海水淡水化の仕組みを学んだ後、施設を見学しました。「海水淡水化水」と「水道水」の飲み比べも行いました。



マリンワールド

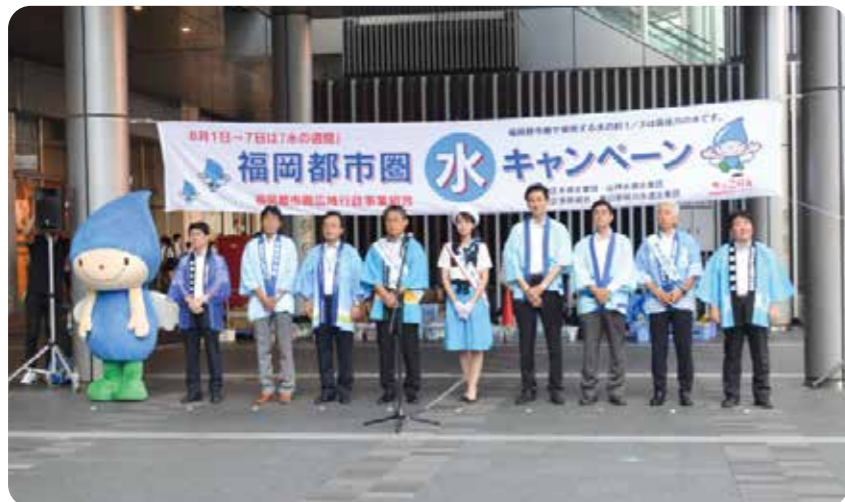
楽しみにしていたイルカやアシカのショーや迫力満点の大水槽の生き物に子ども達も大興奮でした。



福岡都市圏「水」キャンペーン2018 街頭キャンペーン

- 実施日/平成30年8月1日(水)～8月3日(金)
- 実施場所/福岡都市圏各市町

福岡都市圏の各市町では「水の週間」にあわせ、市・町長をはじめ職員271名が住民に福岡都市圏「水」キャンペーン2018のチラシと有明海産「福岡有明のり」を配付しながら、「水をたいせつに」との呼びかけを行いました。(都市圏全体で20,000部配布)



福岡市

- 実施日/平成30年8月1日
- 実施場所/JR博多駅
- 実施者/福岡市副市長、九州地方整備局企画部長、九州地方整備局河川部長、福岡県水資源対策長、(独)水資源機構筑後川局長、福岡市水道事業管理者、福岡市水道サービス公社理事長、福岡地区水道企業団企業長



古賀市

- 実施日/平成30年8月1日、3日
- 実施場所/JR古賀駅、サンリブ古賀店、ルミエール古賀店、市役所ロビー
- 実施者/市長、建設産業部長、総務部長、市民部長、水道課長



宇美町

- 実施日/平成30年8月1日
- 実施場所/JR宇美駅
- 実施者/町長、副町長、課長



篠栗町

- 実施日/平成30年8月1日
- 実施場所/JR篠栗駅前
- 実施者/町長、上下水道課長



志免町

- 実施日/平成30年8月1日
- 実施場所/ルミエール志免店、ザ・ビッグ福岡空港東店
- 実施者/町長、上下水道課長補佐



須恵町

- 実施日/平成30年8月1日
- 実施場所/JR須恵中央駅、トレドマート須恵店
- 実施者/町長、副町長



新宮町

- 実施日/平成30年8月1日
- 実施場所/JR新宮中央駅、JR福工大前駅
- 実施者/町長、副町長、上下水道課長



筑紫野市・山神水道企業団

- 実施日/平成30年8月1日
- 実施場所/JR二日市駅、JR原田駅、西鉄二日市駅、ゆめタウン筑紫野ショッピングセンター
- 実施者/市長、環境経済部長、上下水道料金総務課長



春日市

- 実施日/平成30年8月1日
- 実施場所/西鉄春日原駅、JR春日駅
- 実施者/市長、副市長、経営企画部長、下水道課長



大野城市

- 実施日/平成30年8月1日
- 実施場所/イオン大野城店
- 実施者/市長、上下水道局長、上下水道局各課長



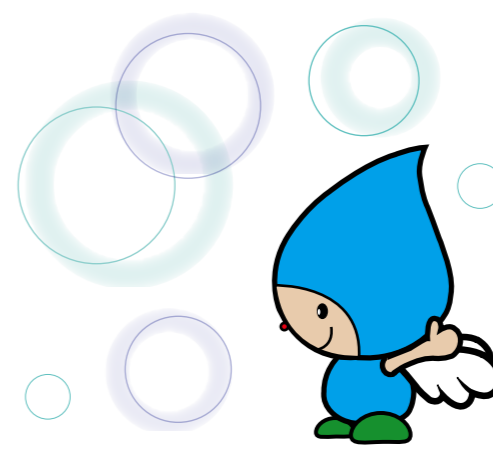
久山町

- 実施日/平成30年8月1日
- 実施場所/トリアス久山
- 実施者/町長、上下水道課長



粕屋町

- 実施日/平成30年8月1日
- 実施場所/ミスターマックス粕屋店
- 実施者/副町長、上下水道課長



太宰府市

- 実施日/平成30年8月1日
- 実施場所/ルミエール太宰府店、西鉄都府楼前駅
- 実施者/市長、上下水道課長、上下水道施設課長



那珂川市

- 実施日/平成30年8月1日
- 実施場所/JR博多南駅、I-77那珂川店、サニー那珂川中原店
- 実施者/市長、副市長、総務部長、経営企画課長



春日那珂川水道企業団

- 実施日/平成30年8月1日
- 実施場所/西鉄春日原駅、JR春日駅、JR博多南駅
- 実施者/企業長、副企業長、局長、参与、総務課長、施設課長、浄水課長、料金課長、水源対策課長、建設課長



宗像地区事務組合(宗像市)

- 実施日/平成30年8月1日
- 実施場所/JR赤間駅
- 実施者/宗像市長、次長、経営施設課長



宗像地区事務組合(福津市)

- 実施日/平成30年8月1日
- 実施場所/JR福岡駅
- 実施者/福津市長、事務局長



糸島市

- 実施日/平成30年8月3日
- 実施場所/イオンスーパーセンター志摩店、JR筑前原駅、JR波多江駅
- 実施者/市長、副市長、水道課長、下水道課長、業務課長



筑後川のめぐみフェスティバル

- 実施日/平成30年10月27日(土)～28日(日)
- 実施場所/福岡市役所ふれあい広場

福岡都市圏で使用する水道水の約3分の1を筑後川に頼っていることを都市圏住民に知っていただき、筑後川への「感謝」の気持ちを育てることにより、筑後川流域の方々との交流や川や森を守り育てる活動につなげるため、フェスティバルを開催しました。



オープニングセレモニー



バルーンリリース

筑後川流域交流物産展

筑後川流域や水源地域にある19市町村が参加

- 〔福岡県〕柳川市、八女市、広川町、大川市、久留米市、大刀洗町、小郡市、朝倉市、東峰村
- 〔佐賀県〕神崎市、吉野ヶ里町、みやき町、鳥栖市、基山町
- 〔大分県〕日田市、玖珠町、九重町
- 〔熊本県〕小国町・南小国町（小国郷観光会議）



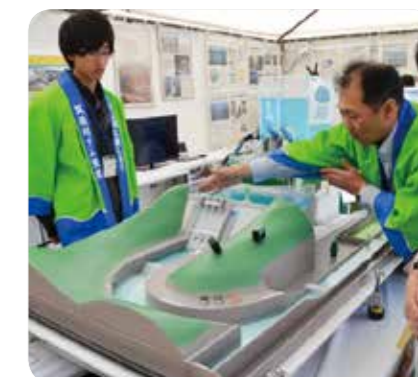
飲水資源コーナー



福岡市水源林ボランティアの会



利き水コーナー



筑後川ダム統合管理事務所

ステージイベント

観光PRステージ&大抽選会
筑後川流域の市町村がステージで観光PRを行いました。各地域の特産品が当たる抽選会も行われました。(写真は左から東峰村、神崎市、小郡市、この他にも多くの市町村が観光PRに参加されました。)



FM福岡公開録音「いつも水をありがとう。筑後川と飲水思源スペシャル」を実施。トーク&ライブゲストに、「FREAK」、「SEAMO」が出演。また、福岡市立高校4校の生徒の皆さんには、福岡西陵高校ダンス部の演技などを披露していただき、さらに、「城島龍神太鼓」、「御井鼓舞組」やキッズダンスも登場しました。



福翔高校吹奏楽部



城島龍神太鼓



博多工業高校 軽音楽部



福岡女子高校和太鼓部

～筑後川のめぐみ復興支援～ きらめきスクエアサテライト会場



平成29年7月九州北部豪雨や平成30年豪雨で被害を受けた筑後川流域の市町村を応援するため、天神きらめきスクエアで観光PRとともに募金活動を行いました。

かっぱリング事業（筑紫地域）
那珂川市・大川市交流事業
～かっぱリング2018～

- 実施日／平成30年8月3日（金）
 - 実施場所／グリーンピアなかがわ、五ヶ山ダム
 - 参加者／那珂川市23名 大川市33名 合計56名
- 那珂川市の小学5年生・6年生と大川市立大野島小学校4年生・5年生の子どもたちが、グリーンピアなかがわでの交流会、五ヶ山ダム見学を通して、水資源の大切さを学びました。

参加者の声

福岡都市圏

村上 竜太さん
グリーンピアなかがわで、大川市の皆と楽しく交流会ができて、仲良くなれたので、とても楽しかったです。五ヶ山ダムでは、「水」の大切さを説明してくれて、これからも「水」を大切にしようと思いました。また、同じようなイベントがあれば、参加したいと思います。

参加者の声

筑後川流域

笠 姫香さん
普段、来れない所に来ることができたので良かったです。楽しかったので、次は家族と一緒にいきたいと思います。五ヶ山ダム見学では、職員さんが説明をしてくれて、とても分かりやすかったです。大川市から遠かったけど、良い思い出になりました。

担当者の声

那珂川市役所 経営企画課 南 智明さん
平成30年7月の豪雨の影響で、交流会の開催が危ぶまれましたが、無事に開催することができました。
当日は、気温が35度を超える猛暑の中でしたが、子どもたちが元気に遊び、仲良くバーベキューを楽しむ姿が見られて、打ち解けあって楽しんでいたと思います。また、五ヶ山ダム見学では、ダムの堤体から下を覗き込んだ際は、あまりの高さに驚きの声や、職員の説明を真剣に聞いて、質問をする子どもたちも多かったです。最後に、本事業開催に際してご協力いただきました関係者の皆さまに感謝申し上げます。



「かっぱリング」とは？

福岡市を除く福岡都市圏の地域を4つの地域（筑紫地域、糟屋地域、宗像地域、糸島市）に分け、文化やスポーツ、水源地域での植樹などを通じて、筑後川流域と福岡都市圏の地域又は自治体単位で行う住民同士の交流事業（福岡都市圏筑後川流域交流推進事業）を「かっぱリング」と呼んでいます。

「かっぱリング」の由来

「かっぱ」で代表される筑後川と交流の輪（リング）を広げ、筑後川流域と福岡都市圏市町の「カッピング」（2つのものの組合せ）を進めるとい意味を込めて「かっぱリング」と名付けました。



かっぱリング事業（糟屋地域）
第21回糟屋地区中学生
地域交流サッカー新人大会

- 実施日／平成30年8月25日（土）～26日（日）
- 実施場所／糟屋地区8会場
粕屋中学校・古賀北中学校・久山中学校・新宮中学校・篠栗北中学校・宇美南中学校・須恵中学校・カブトの森グラウンド【メイン会場】
- 参加者／筑後地区7チーム 糸島地区3チーム 宗像地区4チーム 筑紫地区5チーム 福岡地区9チーム 佐賀県1チーム 筑豊地区2チーム 京築地区2チーム 糟屋地区15チーム 合計48チーム

日頃、交流の少ない筑後川流域と福岡都市圏の中学生サッカーチームが、「水」を通じた「かっぱリング事業」で交流を深め、青少年の技術向上と健全な心身の育成を図るため、糟屋地区の中学校8会場に分かれて、交流サッカー大会リーグ戦を開催しました。
また、開会式では福岡都市圏の水の約1/3は、筑後川に依存していることなどの説明をしました。

参加者の声

福岡都市圏

嶋元 菜乃亜さん
自分たちが、当たり前のように水道を使っているけど、世界には、水道が使えない国もあります。当たり前で水道が使えると思うけど、それは、みんなの見えないところで、一生懸命に働いてくれている人たちがいるからだと思います。水道が使えることを当たり前だと思ってしまうのはいけないと思います。誰かが、みんなの見えない所で、当たり前してくれているんだと思います。なので、水を無駄遣いしたり、粗末にしたりしてはいけない。使うたびに、水道が使えていることに感謝しなければいけないと思います。大会に参加できたのは、保護者、先生方、地域の人、たくさんのおかげだと思います。そして、会場までの送迎、弁当を作ってくれたり、そして、開会の参加費など、親にはものすごく感謝しています。たくさんの方の支えがあって、大会に参加できていたと思います。
今後、自分は、たくさんの方のおかげでサッカーができていいることをしっかりと頭に入れて、たくさんの方に感謝の気持ちをもってサッカーをしたいと思いました。そのために、サッカーをさせてもらっている分、自分たちは、毎日全力で、そして一生懸命にして、サッカー以外にも、学校生活や、普段の生活も同じように過ごしていき、親にも反抗せず、感謝の気持ちをもって接していきたいです。
チームみんなで力を合わせて、もっともっとうまくなって試合に勝ちたいです！

参加者の声

筑後川流域

伊藤 脩志さん
第21回糟屋地区サッカー大会を通じての感想は、今回いろいろなチームと対戦して、まず、全チームがあつた暑い中、全力でプレーしていたところが良いと思いました。ほかのチームで気づいた点は、前線でのプレスが速く、そこからボールを奪って、チャンスになっていた。それらのプレーを見習って、これから暑く暑い試合もたくさんあると思うので、この大会で学んだことを新人戦に向けて、生かしていきたいです。
このサッカー大会のなか、かっぱリング事業の話聞いて、水の大切さを改めてわかりました。僕たちが使っている水は、僕たちが住んでいる近くにある筑後川の水を引いてきているからです。その水は、飲料水は、お風呂など生活に欠かせない水として使われています。
今後、その筑後川にゴミなど落ちていたら、しっかり拾って筑後川をもっときれいに大切に、生活していきたいと、このかっぱリング事業の話聞いて思いました。
ありがとうございました。

担当者の声

篠栗町 上下水道課 吉竹 浩一さん
猛暑の中での開催でしたが、2日間を通して大きな事故・けが等もなく、ご協力いただきました皆様のおかげで、たいへん有意義な大会となりました。
開会式において、私たち福岡都市圏で日頃使っている水の約3分の1が、筑後川の水を頂いていることを説明すると、選手から驚きの声があがっていました。その筑後川流域に住んでいる選手たちと、福岡都市圏に住んでいる選手たちが、この大会で交流試合をすることなどを、うなずきながら興味深く聞いてくれました。
試合では仲間への信頼と相手へのリスペクトを持ち、サッカーに取り組んでいました。一つのボールを仲間とつないでいく！まさしく「水の輪」がひろがるように「かっぱリング」を通して都市圏・流域間の交流を深める大会になったのではないかと思います。
最後に、この大会開催に際してご協力いただきました関係者の皆様へ、感謝申し上げます。



かっぱリング事業（宗像地域） 宗像地区・大山町子ども交流事業 ～かっぱリング2018～

- 実施日／平成30年9月29日（土）
- 実施場所／福岡市「チャイルドキッチン」及び海水淡水化センター
- 参加者／日田市大山町17名 宗像地域29名 合計46名

水源地域である日田市大山町と宗像地域の子ども達との交流事業。チャイルドキッチンで一緒にラーメン・餃子づくりを体験し打ち解けた後、海水淡水化センター（まみずピア）において、施設見学や実験をすることで水の大切さを学び交流しました。

参加者の声 福岡都市圏

後藤 凜愛さん
いつも使っている水がこんなに大切なんだと思い、とても驚きました。私は「あたりまえ」に水をつけているけれどもっと大切にしないといけないと思いました。ラーメンと餃子作りはとても楽しかったです。私たちがふだん使っている「水」がこんなに速くから来ていたのだと知っておどろきました。機会があればまた参加したいと思いました。

参加者の声 福岡都市圏

金子 美樹さん
水がこんな風に作られていることを初めて知りました。水は大切につかわないといけないと思いました。ラーメンとぎょうざを作るのが楽しかったし、おいしかったです。また作ってみたいです。つかめる水の実験も楽しかったです。

担当者の声

宗像地区事務組合
総務課
高嶋 真由美さん
初めて顔を合わせた時は、お互いに緊張しているようでしたが、ラーメン・餃子づくりに協力して取り組むうちに打ち解けて、みんな笑顔で出来上がったラーメンと餃子を食べていました。
海水淡水化センターでは、みんな興味を持って楽しみながら水について学んでいたのもいい交流になったと思います。



参加者の声 筑後川流域

窪 亜依莉さん
普段は水について、しっかりと考えたことがなかったのに、映像や話を聞いて水をろ過したりなどたくさん勉強になったのでよかったです。いつもは気軽に参加できない体験をすることが出来たので良かったです。

参加者の声 筑後川流域

三苫 彰悟さん
すごくいい勉強になりました。ふだんあまり水について考えることがないので、深く考える良い機会になりました。さらにシステムについて初めて知ることも多くあったのでよかったです。あらためて水の大切さを感じました。貴重な経験や学習を多くすることができました。今日の事を多くの人に発信していきたいです。



かっぱリング事業（糸島市） 森林保護交流会（下草刈り） ～かっぱリング2018～

- 実施日／【第1回目】平成30年7月27日（金）
【第2回目】平成30年10月15日（月）
- 実施場所／大分県日田市上津江町（上津江フィッシングパーク）
- 参加者／【第1回目】糸島地域6名、日田市上津江地域6名 合計12名
【第2回目】糸島地域6名、日田市上津江地域6名 合計12名

かっぱリング事業（糸島市） 第19回糸島市・日田市上津江町 「もり」の交流会

- 実施日／平成30年10月21日（日）
- 実施場所／大分県日田市上津江町（上津江フィッシングパーク）
- 参加者／糸島地域52名、日田市上津江地域36名 合計88名

7月27日、10月15日の2日間、日田市上津江町の植樹場所において、下草刈りを実施しました。10月21日には上津江フィッシングパーク内で、糸島市と日田市上津江地域の小学生（保護者含む）で植樹、木工体験、ゲームを通じて「もり」の交流会を実施しました。木工体験での樹木を育てる話を通して、森林と水の関係性、森林保護の大切さを学ぶ機会となりました。植樹や木工体験では、初めて体験する児童も多く、

周りの人たちに手助けされながらも、スコップや金槌を握り、真剣に作業する姿は皆輝いていました。自ら植樹した樹木には、各々の名札が掛けられ、今度訪れた時の楽しみになったようです。今回の事業では、森と水について学習、地域間の交流ができ、有意義な交流会になりました。

参加者の声 福岡都市圏

小栗 菜々子さん
「かっぱリングはどんな意味だろう。」と思いました。糸島の水が筑後川からきていることや大分の人と関わりあう輪っかであることが分かりました。木を植える時に友達が2人でできました。話しかける時は、緊張したけれど友達になれてうれしかったです。これからの生活で「水を大切にしていきたいな。」と思いました。

参加者の声 筑後川流域

奥村 佳苗さん
わたしは、糸島の人と交流できて、楽しかったし、木はあまり植えたことがなかったので、ときどきフィッシングパークに行くので自分の植えた木を見たいと思いました。あと2人だったけど、名前を覚えられたからうれしかったです。来年は行けるかわからないけど糸島に行ってみようと思います。

担当者の声

糸島市上下水道部水道課
樋口 勝哉さん
交流会の植樹では、子どもに植える木を2種類（ヤマボウシ・ヤマザクラ）から各自1本選んでもらいました。初めて聞く木の名前なので、自宅に帰って木の特徴を調べてくれた子どももいました。スコップを使うのに悪戦苦闘しながらも、木の成長を楽しみに植樹しました。間伐材を使用した木工体験では、椅子の組み立てを行いました。組み立て前に説明を行いました。同じような材料が多かったため、あちらこちらで、「これ違う」「反対だよ」というような声が上がっていましたが、周りの方の協力もあり、時間内にみんな完成することが出来ました。後日、子どもたちや保護者の皆様から「糸島の水道水は、7割が筑後川から送られてきていることにびっくりした。」「貴重な体験ができ、学ぶことが多く、今後に生かしたい。」という感想を頂き、大変うれしく思いました。この交流会を通して、福岡都市圏と筑後川のつながりや水の大切さを学んで頂けたのではないかと思います。最後に、参加者の皆様、交流会開催に際して協力頂いた皆様に心から感謝申し上げます。



水の姉妹校形成促進事業

「水」でつながっている福岡都市圏の小学校と筑後川流域の小学校が、一緒に「水」に関する交流・学習を行いながら「水の大切さ」や「森を守り育てることの大切さ」を学び、福岡都市圏と筑後川流域の将来にわたる「相互理解」の促進につなげています。

●福岡市立堅粕小学校（175名）－日田市立前津江小学校（27名） （4～6年生 76人）

交流日 ①平成30年7月13日（金）／②平成30年9月5日（水）

- ①堅粕小の4～6年生は、日田市前津江で前津江小の全校生徒と一緒に、梅木川でヤマメの放流やシオジ原生林の散策など、筑後川の水源地の自然を学びながら、地元の浦和太鼓も体験するなど交流を深めることができました。
- ②前津江小の全校生徒は、堅粕小を訪れ、ワークショップ形式により自分たちが使った水はどこへどのように行くのかをみんなで学びました。その後は給食を通じてさらに交流を深めることができました。



●福岡市立北崎小学校（54名）－朝倉市立秋月小学校（52名）

交流日 ①平成30年7月24日（火）／②平成30年11月22日（木）

- ①両校の6年生は、朝倉市の秋月で、秋月城下の探索や紙すきを体験し、山里の水の文化を中心に交流しました。同じ日に5年生は福岡市の北崎で、海釣り公園での魚釣りや海辺でのシュノーケリングの体験学習、海洋環境について学習し交流を深めることができました。
- ②両校の4年生は、朝倉市のあまぎ水の文化村で合流し、寺内ダムの見学などを通して、水や自然の恩恵について学習しながら交流を深めることができました。



●福岡市立春住小学校（87名）－朝倉市立三奈木小学校（23名）

交流日 ①平成30年8月27日（月）／②平成30年11月19日（月）

- ①春住小の4年生が、三奈木小でレクリエーションや学校の敷地内に流れている小川の散策を行いながら、朝倉の自然や水の豊かさを学んだ後、江川ダムを見学するなど交流を深めました。
- ②三奈木小の4年生が、春住小で、水に関する取り組みをみんなと一緒に勉強した後、まみずピアや御笠川浄化センターなどを見学し交流を深めることができました。



●久山町立久原小学校（65名）－朝倉市立福田小学校（36名）

交流日 ①平成30年7月3日（火）／②平成30年10月13日（火）

- ①久原小の4年生が福田小で、学校紹介やレクリエーションで交流会を深めた後、全員で寺内ダムや平成29年7月九州北部豪雨で被害を受けた朝倉市志波小学校を見学しました。
- ②福田小の4年生が、久原小で水に関する学習の実践発表と意見や質問で相互交流を行い、「久原地区案山まつり」見学や「まみずピア」の見学（福田小のみ）を行いました。互いの地域を紹介しあうことで自分の住む街への理解が深まり、愛着を持つことができました。



水源地“うきは”体験事業

- 実施日／平成30年5月19日（土）
- 実施場所／うきは市（長野水神社、山春地区、清水寺、楠森河北家住宅、にじの耳納の里）
- 参加者／福岡都市圏住民 76名

神社や国が指定する登録有形文化財などの見学、茶摘み体験などを通して、筑後川の水と共生してきた歴史や自然豊かな「うきは市」について理解を深め、環境保全や水の大切さを改めて理解しました。

茶摘み・手もみ体験

たくさん摘んだ茶葉を、釜で炒ったあとに、手もみしました。希望者は石臼を使って、茶葉を挽き、粉茶作りにも挑戦しました。また、今年茶摘みを行った茶園は、現在ではとても希少となった日本古来の実生在来茶園ということで、とても貴重な茶葉を摘ませていただきました。



清水寺（せいすいじ）見学

日本の名水百選に選ばれた「清水湧水」がある清水寺を見学。



長野水神社見学

江戸時代初期、筑後川の水を利用するために命を懸けて大石堰・長野用水を作った5人の庄屋を祀った神社です。堰・用水の完成は、うきは地方に新たな恵みをもたらしました。熊抱宮司から昔の筑後川の様子なども含めてお話を聞きました。



楠森河北家住宅見学

国から「登録有形文化財」に指定されている貴重な建物である楠森河北家住宅を見学。



有明海クリーンアップ作戦

- 実施日／平成30年8月20日（月）
- 事業主催／国土交通省九州地方整備局
- 実施場所／柳川市久間田漁港
- 参加者／福岡都市圏職員 20名

有明海に注ぐ筑後川河口で行われた「有明海クリーンアップ作戦」は、有明海沿岸4県が連携し、有明海の実環境保全の大切さについて、理解を深めるための一斉清掃活動です。柳川市で行われた作業に福岡都市圏職員も参加しました。



“椿ヶ鼻”水源の森づくり

- 実施日／平成30年10月13日（土）
- 実施場所／日田市（大山ダム、スノーピーク奥日田キャンプフィールド）
- 参加者／福岡都市圏（高校生25名）、日田市（高校生14名）、引率者各1名

福岡都市圏と日田市の高校生（博多工業高校、福岡西陵高校、福翔高校、福岡農業高校、大分県立日田林工高校）が、大山ダム施設見学を通して水源地との関わりや水の大切さを理解し、間伐体験を通して山を守る大切さを学び、交流を深めました。

大山ダム見学

ダムの構造や役割について説明を受けながら、ダムの見学を行いました。



高校生の技打ち体験

切捨て間伐（手入れがされていない森の中に切り倒されたままになっている木々）された枝を切り落とし、玉切りにするという作業を、参加者全員で行いました。その後、木材を搬出し、森を綺麗にしました。搬出した木材は、暖炉用のまきに再利用されます。



バーベキュー交流会

枝打ち作業を行った後のバーベキューは、格別においしく、参加者同士の交流もより一層深めることができました。



200海里の森づくり植樹交流会

- 実施日/平成30年11月10日(土)
- 実施場所/日田市中津江村鯛生金山
- 事業主催/200海里の森づくり植樹交流会実行委員会
- 参加者/太宰府市 40名、福津市 44名、総数 84名

水源涵養の森づくりを目指す事業に参加し、筑後川の源流となる鯛生金山の日田市所有山林に植樹を行いました。今回は、福岡県立水産高校と光陵高校の生徒も参加しました。



植樹交流

ヤマザクラやヤマモミジの苗木約300本を植樹し、各々手づくりのネームプレートを下げました。



金山体験

砂金採りや坑道入坑を体験し、鯛生金山の歴史などを学びました。



屋食交流

バーベキューをおいしく食べながら、参加者同士交流を図りました。



職員も植樹参加



太宰府市 佐藤さん、高原さん、熊手さん 福津市 井上さん、品田さん

筑後川・矢部川河川美化「ノーポイ」運動

- 実施日/平成30年10月28日(日)
- 事業支援/国土交通省九州地方整備局
- 実施場所/久留米市 筑後川河川敷
- 参加者/福岡都市圏職員 24名

本年で33回目を数える筑後川河川美化「ノーポイ」運動は、河川美化、愛護運動の一環として、河川へのごみ投棄防止の啓発と、有明海へのゴミの流出等の対策として実施されている清掃活動で、福岡都市圏自治体職員も参加しました。地元住民や関係団体等から約4,100名が参加し、収集数約1,500袋のゴミが回収されました。



水郷ひたの森づくり

- 実施日/平成30年11月25日(日)
- 実施場所/日田市 萩尾公園(植樹会場) 豆田町(散策)
- 参加者/福岡都市圏の住民 74名

「水源の涵養」、「土砂災害の防止」などの森林が持つ公益的機能を守り育て、森林保全への理解を深めるとともに、筑後川上下流域との交流を推進し、流域全体で水源保全に取り組む契機とするために日田市が主催している「市民参加の森づくり」に参加し、日田市民の方と一緒に筑後川への感謝を込めながら植樹をしました。



植樹

「ケヤキ」「ヤマモミジ」「ヤマザクラ」など9種類の苗木を合計で1,300本植樹しました。



豆田町散策

天領時代の古い町並みが残る豆田町を散策し、買い物も楽しみました。



大山ダム水源地域 上下流交流事業（植樹祭） in田来原美しい森づくり公園

福岡都市圏の水源地である筑後川の上流域と下流域の住民の交流を図り、水源林を守り育てることの重要性について相互理解を深めることを目的とした植樹祭に参加しました。

- 実施日／平成31年2月23日（土）
- 実施場所／日田市大山町 大山ダム
田来原美しい森づくり公園
奥日田温泉 うめひびき及びおおくぼ台梅園
- 参加者／宇美町32名



植樹

とても広い公園に「大山桜」や「河津桜」などの苗木300本を植樹しました。



梅まつり

梅の花が色鮮やかに咲き、とても見応えのあった梅園の鑑賞や梅酒蔵などの施設見学をしました。



大山ダム見学

ダム内部を見学しながら、ダムの構造や役割についての説明を受けました。



森林保全支援事業

水源林整備促進支援事業

- 実施場所／日田市 うきは市

福岡都市圏共通の水源地である大山ダム（日田市）、合所ダム（うきは市）の地元自治体と共同で、ダム集水区域内の水源林保全を行いました。日田市、うきは市と共に間伐等を行いました。



地域振興支援事業 水源地研修施設利用 促進事業（施設利用助成）

- 対象施設

名称	所在地	助成者数
たかき清流館	朝倉市	183名
スノーピーク奥日田キャンプフィールド	日田市前津江町	22名

対象施設を利用する福岡都市圏の団体に対し、施設利用の助成を行い、水源地域の振興に寄与するとともに、住民レベルでの交流を促進しました。



地域振興支援事業 小学生自然体験事業 「自然とふれあおうin朝倉」

福岡都市圏の那珂川市に住む子どもたちと朝倉市の子どもたちに、交流を通して水と自然の大切さを知ってもらおうと、朝倉青年会議所の協力を得て小学生自然体験事業「自然とふれあおう in 朝倉」を実施しました。

- 実施日／平成30年8月23日（木）
- 実施場所／朝倉市（寺内ダム、あまぎ水の文化村）
- 参加者／85名 那珂川市の小学5・6年生45名、朝倉市の小学4～6年生40名



寺内ダム見学

ダムの役割などの説明を聞いた後に、監査廊（かんさろう）を見学しました。見学後、土砂や岩石で作られている斜面を登る「背面登り」に挑戦しました。



水遊び

あまぎ水の文化村プールにて



H29.7月 九州北部豪雨に関する勉強会

被害の原因や状況、その後の復旧作業について勉強会をしました。



環境対策支援補助金交付団体

筑後川流域(有明海を含む)において、環境保全活動を行う非営利活動団体(20団体)に対して、活動費の助成を行いました。

団体所在地／活動地域	補助団体名／補助活動名(活動場所等)
福岡都市圏	<ul style="list-style-type: none"> ○福岡市水源林ボランティアの会 筑後川上流域の水源林保全活動と水源地域住民との交流活動 ○NPO法人 はかた夢松原の会 新流域交流連携事業2018 ○地球お守り隊 地球を守る森林保全プロジェクト
筑後川流域	<ul style="list-style-type: none"> ○筑後川まるごと博物館運営委員会 子ども自然体験教室 ○エコアクト筑後川 筑後川エコアクトプログラム2018「森と水の守り人になり隊(たい)！」 ○久留米の自然を守る会 野外での自然観察会の実施、環境に関する講演会や調査の実施及び機関誌の発行配布 ○石けんを広め自然環境を守る久留米市民の会 学習活動、石けん使用推進活動、石けん作り教室
有明海	<ul style="list-style-type: none"> ○NPO法人 有明海再生機構 有明海及びその沿岸域の再生・創生に向けた科学的知見・活動内容の共有化と連携推進、有明海への市民関心の啓発 ○NPO法人 有明海ぐるりんネット 有明海沿岸域の交流継続と地域文化に対する理解を深める活動
水源地域	<ul style="list-style-type: none"> ○NPO法人 初島森林植物園ネットワーク 環境教育活動 田来原こども自然植物園・ミニ里山植物園整備活動
	<ul style="list-style-type: none"> ○安川地区 小石原川を美しくする会 小石原川及び野鳥川の除草作業 ○甘木町「小石原川を守る会」 小石原川を守る会 ○秋月ふるさと倶楽部 小石原川清掃作業(安川地区)及び目鏡橋草刈り作業(秋月地区) ○グリーンウェイブ 朝倉水源の森実行委員会 第5回生物絶滅危惧種スイゼンジノリ保全活動、第7回グリーンウェイブ朝倉水源の森創り ○堀川の環境を守る会 第11回堀川クリーンアップ活動、堀川周辺草刈及び清掃活動
	<ul style="list-style-type: none"> ○うきは市林業研究グループ うきはの森と楽しむ日 ○つづら棚田を守る会 棚田の保全活動 ○巨瀬川を守る会 巨瀬川を美しくする活動 ○うきは市「都市と山村交流」プロジェクト協議会 棚田保全をとおした都市住民との交流活動 ○うきは市癒しの旅先案内人協会 森林セラピーロードを活用した森林環境教育活動

※上記補助交付団体の他、あまぎ緑の応援団委員会が、朝倉市で活動を行う予定でしたが、平成30年豪雨の影響で活動が困難となり辞退されました。



災害見舞金

「福岡都市圏流域連携基金による災害見舞金支給要綱」に基づき、平成30年7月の豪雨で大きな被害を受けた地域に災害見舞金をお渡ししました。
[福岡県]久留米市

流域連携基金審議会

基金で実施する事項に関し、透明性及び公平性を図るため審議会を設置しています。

平成30年度審議会開催状況

回数	開催日時	議題報告
第1回	H30.6.29	議題 平成30年度環境対策支援補助金(案)について 報告 平成29年度水源林整備促進支援事業の実施状況について
第2回	H31.1.11	議題 平成31年度流域連携基金事業(案)について 報告 平成30年度流域連携基金事業の実施状況について

審議会委員

区分	氏名	所属・役職	任期
会長	山下 三平	九州産業大学 建築都市工学部 教授	平成28年9月1日から 平成30年8月31日まで
副会長	相模 裕一	西南学院大学 経済学部 教授	
委員	笠原 玉青	九州大学大学院 農学研究院 准教授	
委員	正能 照也	中小企業サポート福岡 アドバイザー	
委員	山形 紀子	西日本新聞社 TNC文化サークル久留米 事務局長	

区分	氏名	所属・役職	任期
会長	山下 三平	九州産業大学 建築都市工学部 教授	平成30年9月1日から 平成32年8月31日まで
副会長	相模 裕一	西南学院大学 経済学部 教授	
委員	笠原 玉青	九州大学大学院 農学研究院 准教授	
委員	臼杵 昭子	公益財団法人 那珂川市教育文化振興財団「ミリカローデン那珂川」館長	
委員	平 由以子	特定非営利活動法人 循環生活研究所 理事長	

福岡都市圏広域行政事業組合流域連携基金条例

平成16年11月8日 条例第3号

(設置) 第1条	福岡都市圏共通の水源地域及び流域に対して、交流推進事業や森林保全、環境対策、地域振興等の支援事業を行うに連携を図るとともに、もって相互理解を深めるため、福岡都市圏広域行政事業組合流域連携基金(以下「基金」という。)を設置する。
(積立て) 第2条	基金として積み立てる額は、歳出予算をもって定める額とする。
(管理) 第3条	基金に属する現金は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第241条第7項の規定により保管するほか、必要に応じ、最も確実かつ有利な有価証券に代えることができる。
(運用益金の処理) 第4条	基金の運用から生じる収益は、福岡都市圏広域行政事業組合流域連携事業特別会計歳入歳出予算に計上し、福岡都市圏共通の水源地域及び流域に対して、交流推進事業や森林保全、環境対策、地域振興等を図るために必要な費用に充てるものとする。 2 前項の規定により必要な費用に充て、なお、剰余金があるときは、当該剰余金は、基金に積み立てるものとする。
(繰替運用) 第5条	管理者は、財政上必要があると認めるときは、確実な繰戻しの方法及び期間を定めて基金に属する現金を歳計現金に繰り替えて運用することができる。
(処分) 第6条	管理者は、基金の設置目的を達成するため必要があると認めるときは、これを処分することができる。
(委任) 第7条	この条例に定めるもののほか、基金の管理に関し必要な事項は、管理者が定める。
附則	この条例は、平成17年4月1日から施行する。

福岡都市圏広域行政事業組合流域連携基金条例施行規則

平成17年3月22日 規則第7号

(趣旨) 第1条	この規則は、福岡都市圏広域行政事業組合流域連携基金条例(平成16年福岡都市圏広域行政事業組合条例第3号)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。
(対象地域等) 第2条	基金で実施する事業の対象地域は、福岡都市圏共通の水源地域及びその流域(有明海を含む。)とし、基金で実施する事業は、次の各号のいずれかに該当する事業とする。 (1) 水源地域及び流域との文化、スポーツ、植樹祭等の交流推進事業 (2) 水源地域の育林、造林、その他荒廃林対策等への支援を行う森林保全事業 (3) 福岡都市圏地域住民の総合学習及び生涯学習の場として、公共的な研修施設等の利用又は活用を支援する地域振興支援事業 (4) 森林の育成及び保全に関する活動等による環境保全への支援を行う環境対策支援事業 (5) 前各号に掲げるもののほか、その他支援が適当と認められる事業
(運営委員会及び審議会) 第3条	基金で実施する事項に関し、事業の選定及び事業の内容、計画等を審議するため、福岡都市圏広域行政事業組合流域連携基金運営委員会(以下「運営委員会」という。)を設置する。 2 基金で実施する事項に関し、透明性及び公平性を図るため、福岡都市圏広域行政事業組合流域連携基金審議会(以下「審議会」という。)を設置する。 3 審議会は、運営委員会が審議した事項に関し審査を行う。 4 運営委員会及び審議会の組織及び運営に関し必要な事項は、別に定める。
(規定外の事項) 第4条	この規則に定めるもののほか、この規則の施行に関し必要な事項は、福岡都市圏広域行政事業組合管理者が定める。
附則	この規則は、平成17年4月1日から施行する。
附則	この規則は、平成27年4月1日から施行する。